

# エイトコタニ

*Starting in Gifu.*

岐阜市 2024

Live Visit Taste



岐阜で、はじまる。

*Take Free*

Gifu City



CONTENTS

01 岐阜で、はじまる。

03 close-up gifu city interview

05 鼎談「岐阜と音楽。いま、何が起きている？」

09 YANAGASE LIFE「柳ヶ瀬に住んでみた！」

11 柳ヶ瀬で子育て「GifuLife」

15 岐阜の「食」がいまアツい！「冷やしたぬき」愛♡

17 GIFUCURRY CLUB

19 G I F U V I E W

21 はたらくママの1日密着

25 岐阜で学ぶ学生の1日

29 私の「好きな」岐阜市

33 教えてー！バイセン！

37 こどもファーストのまち 岐阜市

39 今、住みたいまち 岐阜市

40 魅力あふれるまち 岐阜市

41 岐阜市イベントカレンダー



エエトコト

Starting in Gifu. 岐阜市 2024



# 岐阜で、 はじまる。 Starting in Gifu.

好きな店ができた。新しい自転車を買った。  
英語の勉強を始めた。気の合う友だちができた。  
やりたい仕事が見つかった。  
それは全部、大きな未来の小さな始まり。  
ひとつの変化が、私たちを囲む世界を面白くします。  
このまちで今、いろんなことがはじまっている。  
その瞬間をお伝えするのが、『エトコタント岐阜市』です。  
岐阜を面白くする人たちの、輝く姿を取材しました。

close-up

gifu city

interview



長良川国際会議場にて

岐阜と名古屋を舞台にした映画「女子大小路の名探偵」が、2023年秋に公開されました。この映画で、主人公の広中美桜を演じたのが、女優の剛力彩芽さんです。撮影期間中に滞在した岐阜の印象や、映画の見どころを語っていただきました！

衣装協力／VERMILLION、Kengo Kuma + MA,YU  
スタイリスト／津野真吾 (impiger)



ayame goriki

# 剛力彩芽

「映像を通すからこそ見える岐阜の魅力」が  
伝わったらうれしく思います。



こともあるのですが、実はそれは愛情の裏返し  
だったりします。心の奥にあるのが「愛情なん  
だな」と伝わればいいなと思って演じました。

撮影中に会った岐阜の人については、どんな  
印象を持たれましたか？

剛力：今回私が行ったお店の方や、撮影でお  
世話になった方が、みなさんすごく優しく、  
あたたかく迎え入れてくださいました。そう  
いう方たちを通して、「こういう（雰囲気）ま  
ちなんだ」というイメージが自分の中に生まれ  
た気がします。あまりスケジュールに余裕が  
なかったのですが、今回のようにオールロケで  
撮影できる時は、できるだけまちの方と交流し  
たいと思います。

他に撮影中に行かれた場所や感想があれば教  
えてください。

剛力：ベトナムラーメンは食べに行きました。  
「岐阜グルメ」と調べると、ベトナムラーメンが  
けっこう上がってくるんですね。「ここは行っ  
ておきましょうか」ということで、マネージャー  
と行きました。おいしかったですよ。本当は有  
名なお店だけでなく、「地元の人しか知らない」  
というお店にも行ってみたいんですけどね。

私は今回初めて岐阜に行ったのですが、そのま  
ちを詳しく知らないからこそ持てる目線や、違  
う場所から来たからこそ見えるものがあると思  
うんです。せっかく岐阜に関わらせていただい  
たので、今後はそういう自分ならではの視点で

岐阜和傘を買いに行った時、  
どれもかわいくて悩みました。

この映画では、主人公・美桜の自宅が岐阜市の  
川原町にあるという設定でした。まちの印象は  
いかがでしたか？

剛力：いろいろなシーンを川原町で撮影させ  
ていただきましたが、あのあたりは素敵ですね。  
情緒のある昔ながらのまちなみがありながら、  
どんどん新しいものが生まれている印象を受け  
ました。岐阜和傘のお店で買い物をしたのです  
が、現代のものとしてちゃんと使える状態で、昔  
のもの（和傘）が残っていると感じました。

和傘を買われたんですね。

剛力：かわいい傘で自分が気に入ったものだっ  
たら、大切にずっと使っくんじやないかと思って  
買ってみたいと思いました。でも、お店で見たら  
どれもかわいすぎて、悩みました。偶然ですが、  
私が買ったものはこの傘（このページの撮影に  
使った傘）と同じ柄のものです。

映画にも出てくる旅館の十八楼にも宿泊され  
たと聞きました。

剛力：はい。温泉が最高でした。また、温泉か  
ら見える長良川がとてもきれいで印象に残って  
います。

あの周辺を歩いているだけで本当に楽しかった  
です。あと、クランクアップの日が満月だった  
んですよ。岐阜城の真上にちょうど満月があっ  
てその景色を「すごいきれいだね」と言いなが

魅力を発信したいと思っています。

逆に、岐阜の皆さんに、「ここがおすすすめだよ」と  
教えてほしいですね。魅力的な場所を訪ね  
「こんな素敵な場所があったよ、皆さん知ってま  
す？」と紹介できたらいいと思います。

## Movie

「女子大小路の名探偵」  
メ〜テレ（名古屋テレビ）の60周年  
記念映画として制作。2021年に書籍  
化された同名の小説を、原作者・秦  
建日子氏の脚本によって映画化した、  
痛快ミステリーエンターテインメント。  
本作で剛力さんは、「岐阜・柳ヶ瀬  
のナンバーワンホステス」の広中美  
桜を演じた。柳ヶ瀬商店街周辺や  
長良川国際会議場、川原町など、岐阜のスポットも数多く  
登場する。©2023映画『女子大小路の名探偵』製作委員会



## Profile

剛力 彩芽さん  
神奈川県出身。2007  
年にTVドラマ「チョコ  
コミミ」でデビュー。  
2008年から2013年ま  
でティーン向けファッ  
ション誌「SEVENTEEN」  
の専属モデルを務める。  
2011年に本格的な  
女優活動を始め、数多くの映画やドラマ、舞  
台に出演する。



岐阜市では、観光誘客を目的として、映像作品などのロケの誘致・ロケの支援を行うロケツーリズム推進事業  
を積極的に進めています。清流長良川や金華山などの抜群のロケーションや、昭和の面影残る商店街のほか、  
市内の各地でこれまでに多くの映画、テレビ番組、CMなどの撮影が行われ、地域の魅力が発信されてきました。  
【連絡先】観光コンベンション課ロケツーリズム推進室 058-214-2103

ロケツーリズム推進事業

泰斗 a.k.a. 裂固



岐阜と音楽。  
いま、何が起きています？

Re portage  
鼎 談

Gifu and Music.  
What's Happening Now?



亀丸 一弘 × 泰斗 a.k.a. 裂固 × DJ MOTIVE

初めてのライブは何もできなかった。

— 亀丸さんがバンド活動を始めたのはいつですか？

■ 亀丸：高校1年だから、38年前ですね。岐阜のライブハウスといえば老舗のCASPERさんで、まずはそこからかな。その後、大阪での生活を経て岐阜に戻り、1996年にSTAB4 REASONを結成したのが、いま続いているバンドの最初の形です。

— その当時、岐阜の音楽のカルチャーは盛り上がっていましたか？

■ 亀丸：終わってた。大阪でバンドをやっていた、岐阜に帰ってきたら何もなかったですね。だから、自分でやっていくしかない。やっていく以上は、岐阜を面白いところになくはない。僕はそういうつもりでいろいろやってきました。

— MOTIVEさんはどんな形で音楽活動を始めましたか？

■ MOTIVE：僕は高校を出てから10年くらい名古屋にいて、名古屋ですとDJをやっていたんです。最初はロックとかテクノでDJを始めて。そのうち名古屋でクラブジャズというシーンが流行りだして、そのシーンにとっぷり浸ってトラックを作り始めました。岐阜に帰ってきた時、岐阜のことを何もわかっていない状態でした。STAB4 REASON AND THE STYLES (当時の亀丸さんのバンド)

のライブを見て、「うわ、すごいカッコいいバンドだな」と思いました。2000年頃だったと思います。

■ 亀丸：そんな話初めて聞いたな(笑)。今まで言ったことないやん。

— 裂固さんが岐阜で音楽と関わるようになったのはいつですか？

■ 裂固：2013年頃ですかね。当時、大垣に住んでいたのですが、友達の影響でヒップホップを知って、その友達がステージに立つ時にCLUB BLOCKという柳ヶ瀬のクラブに初めて行きました。そこでライブとかヒップホップの空気を知って、「自分もちょっと音楽をやってみよう」と思いました。ants (亀丸さんがオーナーを務める「柳ヶ瀬 ants」) は、ライブを始めたぐらいの時からライブさせてもらっています。でも、初めてライブをした時は、何もできなかったですね。antsではけっこう悔しい思いをしました。

■ 亀丸：最初はみんなそこからやんな。

若い子たちに夢を持ってほしい。

— MOTIVEさんがdeadbundyというバンドを始めた経緯も教えてください。

■ MOTIVE：初めはずっと部屋で曲を作っていて、毎年のようにCDを出していました。一人でずっと作っていたので曲がどんどんまっちゃんって。

■ 亀丸：それはすごいな。

■ MOTIVE：それをしていた時、OFT

(OUR FAVORITE THINGS) というフェスに行ったら、今のdeadbundyのボーカルが出ていて知り合いました。その人がやっていたライブハウスによく遊びに行くようになって、「なんか録ってみようよ」とみたいな。遊びで録っていたらアルバムができて、というのが始まりです。

■ 亀丸：僕がMOTIVEを知ったきっかけは、人から「MOTIVEというすごい人がいるんですけど知ってますか？」と言われて、「そんなにすごい人がいるならちょっと会ってみよう」と思ったことです。そうやって自然とつながっていきますね。

■ 裂固：僕はantsでライブをしていたから、亀丸さんのことは当然知っていたけど、なかなか自分から声をかけられなくて。その後、「高校生RAP選手権」で優勝するなどしていろんな人に認知してもらえようになった時、G2さんというレゲエのアーティストの方の企画で、岐阜のアーティストを集めて「BIGUPMYTOWN」という曲を作ることになりました。その時に、音を作ってもらったのが亀丸さんとの出会いでした。その時にやっ

— BIGUPMYTOWNは、FC岐阜のオフィシャルパワースングということですが、この曲に対する思いも聞かせてください。

■ 裂固：2017年に、岐阜という名前ができて450年の節目で作られたのがこの曲です。「岐阜をアゲるんだ」という気持ちを示す意味合いが、僕の中ではありました。僕は元から「岐阜を盛り上げる」と考えていたわけではなく、ラップ



ライブハウス 柳ヶ瀬 ANTS



■MOTIVE:一回悩んじゃったもんね。スランプみたいになってるから、家に呼んで宇宙の話とかしながら大丈夫やって」と。

■裂固:送られてきたビートの中に、いわゆるヒップホップ的なビートはあまりないんです。自分が関わったことがないようなビートが次々に来るから。そういう意味で、めっちゃ幅を広げてもらいました。

■MOTIVE:なんかさ、いつか聞きたいと思っとたんやけど。

■裂固:それは、先輩のラッパーの方ですね。「いい遠回りをしたね」と言われたんです。通常、売れ筋というか、みんなが求めるものに自分が合わせる感じで売れる道を進んでいく人が多いと思うんですけど、その方が言っていたのは、「ちゃんと地元の先輩や、カッコいい音楽をやっている人とつながって制作するのは、いい遠回りだと思ってる」ということでした。

■亀丸:一見遠回りだけど、そういうやり方をするから自分の財産になってカッコいい自分が形成されるわけで。この先10年、20年と音楽をやっていくんだったら、大事なことだと思う。

■裂固:本当に、岐阜で音楽をしていると、いろんなきつかけをもらえます。B-GUP MY TOWNもそうですし、MOTIVEさんとの制作もそうです。今まで岐阜でやってきた人たちが味わえていないきつかけを、自分はいたいだいでいる気がします。

■MOTIVE:それはもう、亀丸さんから脈々とね。■裂固:間違いないです！

音楽の扉を開けて、足を踏み入れてみる。

■裂固:自分は、MCバトルの大会「KING OF KING 2022 GRAND CHAMPIONSHIP FINAL」(以下、KOK)で優勝されました。

■裂固:自分の中では「やっと取れた」という感じでした。「高校生RAP選手権」で日本人になったと言われていたんですけど、ちゃんと大人も含めたところで日本人にならないと、応援してくれている人に対して答えを出せていないという気持ちがありました。僕がアガること、岐阜がアガることは絶対につながるから、この日本一は大きな岐路になったと思います。

■亀丸:とんでもないことですよ。

■裂固:今は僕を見てラップを始めた子とか、慕ってくれる後輩がいます。そういう後輩にカッコいい姿を見せていきたいと思えます。

■亀丸:この3人も本当に、ジャンルが違います。「岐阜で音楽をやっている」ということは同じでも、普段戦っている場所は違ってますね。裂固もMOTIVEも、それぞれの場所で先頭に立っててすごいと思う。バンドの世界で今の裂固みたいに表に出てきているのが、さっき言ったKUZURRAというバンドです。バンド界では「岐阜つてすごいね」という感じになってきてますよ。

■音楽に興味を持った若者が「antsで演奏したい」と考えたとして、亀丸さんはどう思いますか？

■亀丸:もちろん大歓迎です。高校生のコピー

が好きという理由で始めたんです。でもやっっていく中で自分の視野が広がり、「岐阜に対してできることがあるかな」と考えるようになりました。

■亀丸:僕も一緒に、音楽をやり始めた時は自分が好きだからやるわけで、岐阜がどうこうとかとは考えていなかった。けど続けていくうちに、「いやいや、このままじゃダメだ。盛り上げていかないと」と思った。ただ、僕の場合は10年くらいかかっているわけで、裂固の歳でそれを言えるのはすごいと思う。

■裂固:たとえば東京なら、東京の中に渋谷とか新宿とかまちが細分化されていくけど岐阜と言ったらもう「岐阜」だから、中で対立するより、まずまとまらないと。

■亀丸:そうそう。都会だったから音楽のジャンルによってライブハウスも違うし、付き合う人も違ってくるんだけど、この岐阜をそういう風にはしたくない。僕は音楽を聴く立場、応援する立場としては、ジャンルは一切こだわっていないです。カッコいいと思ったり、どんなジャンルの音楽でも「めっちゃめっちゃ良かったね」と言えるようにしたい。

■亀丸さんが「柳ヶ瀬ants」を作られた理由として、若い人たちがサポートする気持ちもあったのでしょうか。

■亀丸:もちろんあります。岐阜のライブハウスで、若手を育てながら県外に行きたい時に(人などを紹介したりしているのは、ants.だけだと思えますよ。僕らはちゃんとそこまで面倒を見ます。たとえばLisaちゃんも高校生くらいの時から知っていて、一緒にやってきた

バンドでも出れるような企画をいっぱい用意しているし、まずはステージに立つて何かを感じてほしいと思っています。さっきの裂固の話じゃないけど、みんなそこからのスタートなんですよ。ライブをやっている「今日もつてきたはずだったな、悔しいな」の繰り返し。自分もまだにそうだけ。

■裂固:思いますが。

■亀丸:たとえばバンドを始めるのって高校生くらいじゃないですか？そのくらいの子たちにはじゃーん来てほしいね。とにかく若者が原動力だと思ってるから。バンドでもいいし、DJでもいいし、ヒップホップでもいい。岐阜で音楽の扉を開けて、足を踏み入れてみると、いろんなものが見えてくるから。「岐阜つてこんなものいるの？」と分かってくる。たとえばMOTIVEは世界に向けて発信しているアーティストだけど、そういうところにもつながっていく。

■MOTIVE:僕はいつもこの店(MOTIVEさんが経営する「CAFE & BAR a.l.f.f.o」)にいるので、会いに来れる店があります。ただやっぱり、音楽だけにとらわれるんじゃないって、映画をいっぱい見るとか、本を読むとか、そういうのが音楽に出ると思うんで、音楽だけをやっている、人と一緒になっちゃおうし。

■亀丸:そうそう。ライブができる店があり、そこに行くためにはカッコいい服を着たいし、いい車に乗りたいかもしれない。全部つながってるんですよ。antsでライブを見た帰りに「a.l.f.f.oに行こうよ」と寄って、充実した1日を過ごせるわけじゃないですか。そういう風にみんなつながっている。岐阜のまちも、そういう見え方になってほしい。「あの店もいいし、こ

中で彼女の想いも知っているし、cinema staffというバンドもそうです。だからLisaちゃんもcinema staffも、今でも岐阜を大事にしてくれています。

■裂固:僕の中ではLisaさんが岐阜出身と知った時はうれしかったです。大きなところで活躍するアーティストが岐阜から出たんだなと。岐阜の若い子はうれしいと思いますよ。

■亀丸:そうそう。そういう夢を与えてほしい。antsに来る若い子たちがやっぱ夢を持ってほしいというのがあります。「東京や大阪に出て行かない」という考え方もあるけど、たとえばKUZURRAというバンドは今、岐阜に住みながら活動しているんですよ。「みんなが岐阜に来てくれるような、そういうバンドに僕らになりたい」と言っています。

岐阜で音楽をしていると、きつかけをもらえます。

■裂固さんとMOTIVEさんは2020年に「omniverse」というアルバムを制作されています。その経緯も教えてください。

■裂固:まず、僕がアルバムを作る時に、「1曲MOTIVEさんをお願いしよう」ということになったんです。その時にMOTIVEさんから送っていただいたサンプルがものすごい量で。しかもそれがカッコいい曲ばかりで、「これもやりたい、これも」という感じになりました。結局アルバムに1曲入れたんですけど、その後、普通にアルバム単位でお願いしたいということになりました。MOTIVEさんから送られてくるビートが本当に幅広くて。

の洋服屋も好き」って。「岐阜、楽しいね」となるように、まずここを楽しみたいところにしたという思いがあります。

Profile

亀丸 一弘 さん

高校卒業後、大阪に移住。1993年岐阜に戻り1996年STAB 4 REASONを結成。1999年STAB 4 REASON AND THE STYLESを結成。2000年レーベルTWISTED PRODUCTIONSを設立。2006年スタジオSOUND STUDIO PRIMEを各務原市にオープン。2008年DUB 4 REASONを結成。2011年ライブハウス柳ヶ瀬ANTSを岐阜市にオープン。2012年スタジオSOUND STUDIO PRIMEを岐阜市に移転オープン。2013年、株式会社アンツ・エンタテインメントを設立し代表取締役就任。2015年、MUSIC MAGAZINE誌の特集「ベスト・アルバム2015 レゲエ(日本)」部門ベスト5の第2位にDUB 4 REASONの2ndアルバム「ANARCHY AND DUB」が選出される。2017年、岐阜のアーティストによる岐阜県讃歌「BIG UP MY TOWN」を発売。

DJ MOTIVE さん  
deadbundy / P.C.M / DJ / PROCUCER

HIPHOP, TECHNO, ELECTRONICAなど縦横無尽な作風が特徴。クリスチャンティオールのweb用ショートムービーにmomigaiの「whales」「senaka」が使用される。3rd ep「seaside」はUKのダウンロードサイトHTFRのチルアウトチャート3位。別名義のユニットdeadbundyも広く支持を集める。ドイツのレーベルHELL YEAHより12"「Lorenz/deadbundy」発売。2020年、裂固とアルバム「omniverse」、ジャストランベッター近藤等則との共作「ZEN」発表。2022年よりテクノアーティストの名義である「P.C.M」開始。REMIX、CM音楽、サウンドトラックなどコラボレーション多数。また、2023年には、岐阜スウープスのアリーナで使用されるBGM、イメージトラックを制作。

泰斗 a.k.a. 裂固 さん

岐阜県出身。ヒップホップアーティスト。第9回「高校生ラップ選手権」の優勝を皮切りに「SCHOOL OF RAP SPOTLIGHT」優勝、2016年「KING OF KINGS」本戦出場等、フリースタイルラップバトルシーンの最前線に躍り出る。2017年、テレビ朝日『フリースタイルダンジョン』の2代目モンスターに選出される。音源では、2016年にデビューEP『AUTOMTICFUN』のCD1500枚を完売させ、続いてのシングル『KEEP ON RUNNIN』。2020年には2nd ALBUM『omnivers』をリリース。2022年MCバトル「KING OF KINGS 2022 GRAND CHAMPIONSHIP FINAL」で優勝。

PROFILE

平 春来里 さん

山形県の大学を卒業後、名古屋の大学院に進み、現在は博士課程に在籍している。柳ヶ瀬で暮らす若者の姿に共感し、2023年春からデイリーこやなぎで暮らし始めた。

YANAGASE LIFE

魅力的な人たちが集まる場所で。



ラジオ体操から広がる人の輪。

平さんたちシエアハウスのメンバーは、毎週水曜の朝に集まってラジオ体操をしている。輪になって体操をした後はみんなで喫茶店に行き、モーニングを取ることもあるそうだ。「近隣の会社に勤める方など、いろんな年代の方がラジオ体操に参加されます。岐阜は本当に人がつながりやすいまちだと思います」。魅力的な人たちがぎゅっと集まり、誰かが常に新しいことを始めている。そんなまちでの賑やかな暮らしを、平さんは日々楽しんでいる。



YANAGASE LIFE

柳ヶ瀬のレトロな雰囲気が好き。

PROFILE

鬼頭 知那 さん

2022年3月に「柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社」に入社。同時期にデイリーこやなぎで暮らし始める。約1年後、商店街の中にある別のシエアハウスに移った。

古道具店が伝える価値。

鬼頭さんのお気に入りの場所は、「古道具 mokkumokku」。以前はお客様として利用していたが、まちづくり会社の社員になった現在は、古道具のイベントを共催するなど仕事上でも関わりを持っている。「古道具自体の価値や、家具を解体してきれいにしてお店に出すという店主さんの姿勢に共感しています」。古いものを大切にする文化や、柳ヶ瀬のレトロな雰囲気が好きだという鬼頭さん。その魅力を、県外などから招いた友人にも積極的に伝えている。



まちと暮らしがつながっている。

「初めて柳ヶ瀬に来た時、商店街の中に暮らしている若者の姿を見て衝撃を受けました」と話す。自分も住んでみたいと思いました」と話すのが、大学院生の平春来里さん。その願いを実現し、柳ヶ瀬商店街にあるシエアハウス「デイリーこやなぎ」で暮らし始めた。このビルの1階はシエアキッチンになっており、メンバーの手でイベントを行う機会も多い。また一歩外に出れば目の前に店が並び、顔見知りの人たちにも会える。そんな日常を、「まちと暮らしがシームレスにつながっている感じがします」と平さんは話す。「オンとオフを切り替えなくても、すぐ気分転換ができます。電車に乗らなくても、魅力的な人やものに出会えることが、すごくいいと思います」。商店街の中にはデイリーこやなぎを含めて3つのシエアハウスがあり、それぞれ訪ね合って交流を深めている。その場に新たな人を招くことも多く、つながりがどんどん広がっているそうだ。「ここにいる人たちは、外から来た人にもすごくウエルカムです。だから私も、自分の友だちをみんなに会わせたくなります」と話すのが、別のシエアハウスで暮らす鬼頭知那さん。まちづくり会社の社員として柳ヶ瀬の振興に力を注ぐ鬼頭さんは、このまち全体のオープンな雰囲気に魅力を感じている。「居酒屋もスナックも雑貨店も、すべてが歩いて行ける距離にあります。商店街の中に顔なじみの人が多く、日常的に『久しぶり』『元気？』という言葉を交わします。心がほくほくするような毎日を過ごしています」。



柳ヶ瀬に住んでみた!

YANAGASE LIFE

YANAGASE LIFE

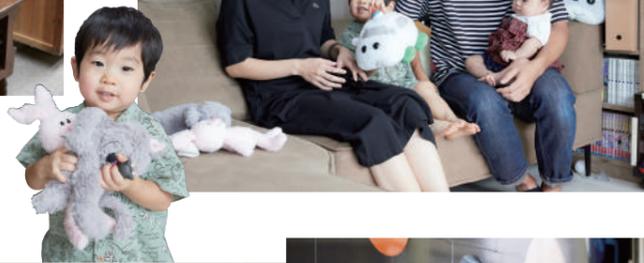
心がほくほくする商店街暮らし。



商店街の中は、少し歩くだけでも風景の変化を楽しめる。「古き良き昭和の雰囲気があっていいですね」と品田さん



そろそろお出かけしようか!



今日、バナナが安いね



きれいな模様だねー

自宅近くの八百屋さんで買い物。普段からよく利用するため、お店の人や常連のお客さんともすっかり顔なじみに。「子どもを連れていけると、皆さん気軽に声をかけてくれます」。



つぎは絵本を読んでー

岐阜市の子育て支援施設「ツナグテ」も、品田さんの自宅から徒歩で行ける距離にある。「雨の日や夏の暑い時でも快適に遊べるのでありがたいですね。夕方の6時までしっかり遊び、家に帰ったらすぐご飯を食べて寝る。そんな使い方ができるのもうれしい。



上手にできるかな?

family



夫 晃宏さん 妻 長男 2歳 長女 0歳

品田晃宏さんは北海道の札幌出身。2021年に美殿町で鍼灸整体院を開業し、ほぼ同時期に柳ヶ瀬での生活をスタートした。

子育て  
Gifu Life

子育て  
柳ヶ瀬で

買い物をする店も遊ぶ場所も、実は何でもそろってる!  
柳ヶ瀬での子育てライフを取材してきました。



今日はどこ行く?

じゃあ、がんばって歩こう!

公園がいい!

品田さんが営む「ミトノマチ鍼灸整体院」は、自宅から歩いて3分ほどの距離。近所の住民や商店街で働く人が多く訪れる。また、品田さんは陸上競技のスポーツトレーナーとしても活躍中。



子どもを見守ってくれるまち。

「柳ヶ瀬でベビーカーを押している人が増えたよね」。そんな声を、最近ちらほら聞くようになった。ここ数年でマンション建設が進み、若いファミリーが増えている柳ヶ瀬エリア。そこで暮らす人にインタビューをした。

「住み始めたのは2020年11月です。岐阜駅から歩ける場所がいいと思い、柳ヶ瀬にしました」と答えてくれたのが、品田晃宏さん。隣の美殿町でミトノマチ鍼灸整体院を営んでおり、職住近接の暮らしをしている。「住み始めて3年が経ち、マンションの中にも仲の良い友だちができました。うちと同年代のファミリーはすごく多いと思います」。

品田さんの1日は、子どもを保育園に送ることから始まる。ベビーカーを押して商店街のアーケードを歩いていると、商店主さんたちが朝の掃除をしながら、「おはよう」「今日も元気だね」などと気さくに声をかけてくれる。「皆さん、子どもをかわいがってくれますよ。人のあたたかみを感じます」。また、商店街の存在自体も暮らしやすさにつながっており、日常的な買い物は近所の八百屋や魚屋、ドラッグストアなどでは済ませることが多い。アーケードの下は雨の日や真夏でも快適に歩きやすく、ここを通過して金公園や岐阜市の子育て支援施設「ツナグテ」に行くことも多いそうだ。

「子どもが遊べる場所も近くにあり、生活に必要なものは何でもそろっています。柳ヶ瀬はとても暮らしやすく、子育てがしやすいまちです」。まちなかでの子育てライフ。その充実ぶりが、散歩中の楽しそうな様子からも伝わってきた。

岐阜市柳ヶ瀬子育て支援施設『ツナグテ』



きッズエリア



ふぁみりーエリア

遊びを通じて子どもの生きる力を育み、子育て家庭を応援する施設です。

きッズエリア(子ども:無料、引率者:有料)

元気よく駆け回ることのできる「ごーごーフィールド」、工作やお絵描きが楽しめる「そうぞうアトリエ」、乳幼児専用スペース「はいはいパーク」があります。

【料金】子ども(小学生以下):無料 引率者(18歳以上):500円

ふぁみりーエリア(一部無料)

図書館との連携コーナーを設け、親子で読み聞かせができる「ふれあいひろば」の他、子育てに関する相談ができる「そうだんしつ」などがあります。

場所:柳ヶ瀬ガラスル35(徹明通2-18)4階

開館時間:午前10時から午後6時

休館日:毎月最終木曜日、年末年始 問:ツナグテ 058-214-3117

セントラルパーク『金公園』

都心に広がる憩い、うるおい、にぎわいの空間として、セントラルパーク『金公園』が、令和5年3月4日(土)にリニューアルオープンしました。

新しい金公園には、緑の拠点となる広大な芝生広場をはじめ、イベント空間や、公園全体を見渡すことができる「小高い空間」、訪れる人に潤いを提供する「噴水」、ほどよい広さの居心地よい空間などを整備しており、公園を訪れる方が主役となり楽しむことができます。

問:公園整備課 058-214-2183



ツナグテ



2023年春に子育て支援施設「ツナグテ」がオープンし、セントラルパーク「金公園」がリニューアル。子育てをしやすい環境づくりが進んでいます。



セントラルパーク「金公園」

岐阜公園



遊具が集まる「ちびっこ天下広場」、歴史博物館や美術館などが併設されています。

長良公園



大型複合遊具や幼児向けの遊具など、子どもの成長に合わせた遊具がそろっています。

岐阜ファミリーパーク



めずらしい立体コースのゴーカートや東海3県最長180mの長大ローラーすべり台など、ファミリー向け遊具がたくさん。

ぎふ木遊館



県産材でつくった10種類の大型木製遊具や100種類以上の木のおもちゃで遊ぶことができます。

みんなの森 ぎふメディアコスモス



市立中央図書館、市民活動交流センター、多文化交流プラザからなる複合文化施設。ホールやギャラリー、カフェなどもあり、子どもからお年寄りまでさまざまな人が集まり、学び、繋がる、市民の憩いの場です。

岐阜市子育て支援団体連絡協議会

NPO法人や市民団体などで構成され、楽しく安心して子どもを産み育てられるまちづくり、子育て環境の充実を目指して、子育て支援に関する情報の収集・発信、交流会や研修会の開催等を行っています。

☎ NPO法人グッドライフ・サポートセンター内  
goodlife@ip.mirai.ne.jp

冷やしたぬき食べ比べ！ 田代さんと山本さんが選ぶ9店！ その魅力を解説してもらいました。

更科



はじまりの場所 ザ・ソウルフード

天かす、お揚げ、ねぎ、わさびに濃い目のつゆ。所謂岐阜スタイルの冷やしたぬきを生み出した最初の店。長年支持され続ける味わいはもちろんのこと、秒単位の提供速度ときめ細やかなサービスは他の追随を許さない。

冷したぬき天国



求道者が紡ぐ至高の一杯

「堀川」の2代目がプロデュースするこだわりの冷したぬき専門店。コシのある細めの蕎麦に粉末昆布といりごまが絡む洗練された冷したぬきで、レジェンド「更科」に果敢と挑む。店名に「や」が無いのもこだわりの一つ！

吉右衛門



激戦区に切り込むそば専門店

市役所新庁舎の開庁に併せてオープンしたそば専門店の冷やしたぬきは、コシが強く喉越しの良い手打ち麺がウリ。刻んだお揚げと海苔の具材を細めの麺にしっかり絡ませて、この店ならではの一体感を味わいたい。

堀川



質量共に充実の人気めん処

岐阜大学から徒歩圏内に暖簾を構え、学生も地元民も足繁く通う名店。やや細めの蕎麦にさっぱりつゆと甘さ控えめのお揚げが入った冷やしたぬきは大盛でもツルツルと食べられ、ボリュームミーな丼物と併せれば満腹必至。

東亭



城下町の食を支える大衆の味

今町で創業から120年以上に渡り愛され続ける大衆食堂の冷やしたぬきは、ぶ厚いお揚げとあっさり目のつゆが特徴。お腹に余裕があればカツ丼や親子丼等の人気食メニューと一緒に楽しむのも一興である。

soba-bito



柳ヶ瀬のモダンなニューフェイス

「柳ヶ瀬ガラスル35」内にオープンしたばかりのたぬきそば専門店。スタイリッシュな店内では定番のお揚げ入り冷やしたぬきと、ゆず風味の白たぬきを揃える。ワンコイン500円からの価格も魅力的。

志のだや



老舗食堂が放つ個性派アレンジ

創業110年以上を数える川北の老舗食堂では、80種類に及ぶ種類メニューが並ぶ。冷やしたぬきは天かすのみのクラシックスタイルだが、ここに味噌だれを投入した変化球「冷やしみそたぬき」を一度は御賞味頂きたい。

ラーメン天外 長良店



蕎麦からの脱却 大いなるオマージュ

ラーメン店が開発したその名も「冷やしたぬき中華」は、国産小麦の中華麺に二種類のお揚げ、肉などオリジナルの具材を加えながらも、わさびを溶いて喉げばかなり「アレ」っぽい！蕎麦アレルギーの方にもオススメ。

市役所大食堂



進化を続けるつかさのまちの台所

岐阜市役所内に設置された「市役所大食堂」は、職員に限らず誰でも気軽に利用できる。飛騨そばを使った冷やしたぬきは開庁当初は天かすのみであったが、後にお揚げ入りの岐阜スタイルへと進化し今に至る。



岐阜の“食”がいまアツい！

『冷やしたぬき』愛



岐阜のソウルフード「冷やしたぬき」が、いま密かなブームになっていることをご存じだろうか。

実情を知るために、冷やしたぬき愛好家のお二人にインタビューした。

お話を聞いたのは、愛好家の団体「冷やしたぬき王国(キングダム)」を“建国”してSNSなどで情報発信を続ける、田代達生さんと山本慎一郎さんだ。

「まず『冷やしたぬきってなに?』という話から始めましょうか」と山本さん。「岐阜における冷やしたぬきの定義は、そばの上にかかすとお揚げが両方乗っていることです」。田代さんが続ける。「それを出した最初の店がここ更科で、我々にとって聖地と呼ぶべき店です」。お二人が指摘するのは、冷やしたぬきに岐阜の地理的な特性が表れていること。「天かす+油揚げ」のスタイルは、関東・関西の食文化が融合した独自のものだという。さらに、つゆの味

にも地域性があるそうで、「甘じょっぱい味は、東海エリアの味を端的に表現したものだといえます。これが脳に突き刺さってくるんです」と山本さんは表情を緩める。

その冷やしたぬきを巡って、近年新たな動きが見られるという。「更科に追随する店が出てきました。その代表格が、2021年にオープンした専門店『冷したぬき天国』です」。さらに何軒ものそば屋さんが冷やしたぬきをメニューに加えるなど、静かなムーブメントが起こりつつある。こうした現状を、多様性という言葉で表現するのが山本さんだ。「基本形はあるものの、実際は各店が思い思いの冷やしたぬきを作っています。その多様性に面白さを感じます」。

さらに田代さんも「歴史ある店が後発の店を寛容に受け入れるのは、ダイバーシティのまち岐阜らしいですね」と話す。冷やしたぬきとダイバーシティ。聞けば聞くほど奥が深い。

本業では、まちづくり会社の代表を務める田代さん。その視点をふまえ、最後にこう話してくれた。「急に人気が出たのではなく、元々あった魅力に地域の人たちが気づき言語化されるようになったのが、冷やしたぬきの現状だと思います。シビックプライドを覚醒させる上で、食文化は必須です。これからも魅力ある食文化を発掘し、地域の人たちと一緒に楽しんでいきたいです」。

定番の味から新感覚カレーまで、幅広い味が魅力です!

写真左から、「エリックチキンカレー」「はちみつバターチキンカレー」「マラバル風キーマカレー」「サンバル」です。エリックチキンカレーは定番な感じで、チキンがほろほろして美味しかったです。また、はちみつバターチキンカレーは、トマトの甘みの特徴。カレーであることを忘れ、スイーツと錯覚するような新しい感覚のカレーでした。



**ERICK SOUTH 岐阜 AG店**

東京や名古屋、大阪などにも店を構える本格南インド料理の専門店が、岐阜に登場。☎ 岐阜市 橋本町1-10-1 アクティブG 2F ☎ 058-269-4121

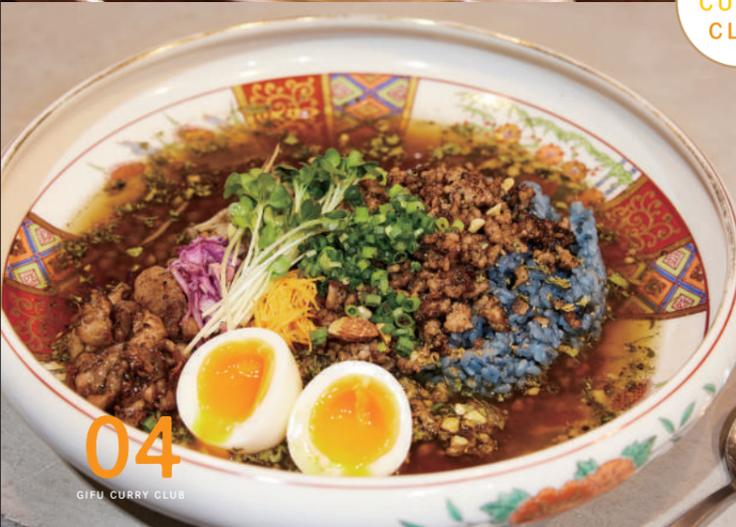
親しみやすい味が魅力の、スパイスカレー専門店。

卵とチキンがドンと乗っていて彩りもあり、食欲がそそられるカレーです。野菜が美味しく、特に玉ねぎがシャキシャキで、カレーとの相性が抜群! 家庭で食べるカレーを思わせる、親しみやすい味でした。チキンカレーは、サラサラ感がありながらも味はしっかり。カシューナッツとココナッツミルクのちょうどいいまろやかさを感じました。



**Spice Addict**

女性店主が営むスパイスカレーの専門店。店名のAddictには「やみつき」という意味が。☎ 岐阜市 鶴舞町1-19-8 ☎ 058-207-4095



カラフルな食材が映える! スープが美味しい新感覚のカレーです。

今まで食べたことがない、新感覚カレー! (カレー界のお茶漬け的存在?) 鶏ガラやホタテの出汁が効いたスープは、スパイシーでありながらさっぱりしています。ゆっくり息つきたい時に食べたいような、心もからだも温まる味です。大きな器に盛り付けられたカラフルな食材たちがきれいに映えて、目でも楽しめるカレーでした!



**SPICERAMEN HARUKIYA**

店主さんの個性が詰まったスパイスカレー。隠れ家のような雰囲気も魅力。☎ 岐阜市 住田町2-4 ☎ 058-200-5991

7種類のカレーの組み合わせで、味わいが無限に広がる!

1つのプレートに7種類のカレーが乗っていて、味変しながら楽しめます。7種類すべてスパイシーでピリ辛ですが、食材の味がしっかり伝わってきました。お好みでカレーを混ぜ合わせたり、ワダ(お豆ドーナツ)をカレーにつけてみたり、他では楽しめない食べ方ができるのが魅力的です。何回も通って自分の一番の食べ方を見つけたと思いました!



**三日月バル**

岐阜駅前にある南インド料理の店。中東やフランスの料理も楽しむことができる。☎ 岐阜市 住田町2-20 ☎ 058-264-2313



01

GIFU CURRY CLUB

寒い日に食べて、体の中からあたたまりたいと思える味。

チキンカレーは食べやすいスパイス辛さで、マトンカレーはスパイシーさが印象的でした。ごはんのバラバラ感と、ポリヤルのあっさりした味が、スパイシーなカレーと相性抜群! 寒い日にこのカレーを食べて体の中から温まりたいなと思いました。チャイはとても飲みやすく、香辛料の香りを楽しめました。



**COCKNEY COOKS.BLITZ**

ブリッツコーヒーの2号店。本場インドで食の旅をしてヒントを得たオリジナルのスパイスカレーを楽しめる。☎ 岐阜市 司町10 ☎ 080-3632-2742

実は岐阜市は、知る人ぞ知るカレー店の激戦区。そのハイレベルぶりを確かめるために、「食」と「お出かけ」が大好きな2人の大学生が、人気店を調査した。2人のレポートを読めば、カレーが食べたいこと間違いなし!

GIFU CURRY CLUB



PROFILE

山口ゆいこさん

食べることが大好きな、19歳の建築学生。「岐阜市にもっと関わりたいので、興味があることは何でも参加しています!」



PROFILE

川合紀歌さん

休みの日に1人でフラッと出かけるのが好きな19歳の建築学生。「スーパーで買い物をして料理をするのも好きです」。



新しい岐阜市を探そう!

「金公園」の遊具。子どもの目線で見上げると、  
不思議な景色が現れました。

視点が変われば、まちの見え方も変わる。

そんなことを意識しながら、

岐阜市をさらに巡ってみましょう。

6:30

@起床、朝の仕度

3人一緒に起床。子どもの着替えや朝食の準備は、基本的に夫の幹さんが担当。その間に郁美さんは身支度をすませる。3人一緒に食卓を囲むのが、藤谷家のルーティン。休日は長良川の河原にパンやコーヒーを持っていき、朝食を楽しむことが多い。



3 | 1  
4 | 2



Working Mom's Day

長良川うかいミュージアムで働く藤谷郁美さんは、2歳の子どものお母さんだ。結婚当初は東京に住んでいたが、出産後しばらくして夫婦の地元である岐阜に移った。その際、新たな生活拠点を選んだのが、長良川から近い現在の住まいである。職場には普段自転車通勤だが、長良川プロムナードを40分ほど歩いて出勤する日もあるそうだ。

郁美さんの夫は自宅ですべての家事を営んでおり、実家も近い。そのため、子どもが保育園で体調をくずした時でも、誰かが迎えに行くことができる。さらに安心なのが、休日保育や病児保育の制度が充実していること。「私は土日に出勤することも多いので、本当に助かっています」と郁美さんは話す。

長良川うかいミュージアムでは、マルシェやコンサートなど自主事業の企画・運営を担当している郁美さん。昼間、仕事に集中することが、子育てにもプラスになっているという。「子育てのことでも少しも気になることがあると、ついそのことばかり考えがちです。でも今は、昼間は仕事に集中しているので、小さな悩みに引っぱられることがありません。家に帰ってきたら全力で子どもに愛情を注ぐことができ、良い切り替えができています。」

子育てをする場所としての岐阜の魅力は、心のゆとりが持てることだと郁美さんは言う。職場や保育園が近いので余裕を持って生活でき、まわりには安心して頼れる人がいる。長良川プロムナードを歩いて帰る時、美しい夕焼けを見ながら、「こういう環境で子育てや仕事ができるのが本当に幸せだな」と感じるそうだ。



# Working Mom's Day

はたらくママの1日

密着

仕事も子育ても全力！  
はたらくママの1日を密着取材しました。

### PROFILE

藤谷 郁美 さん  
会社員

東京での生活を経て、2022年1月に地元の岐阜で暮らし始める。同年4月から株式会社JTBコミュニケーションデザインの社員として長良川うかいミュージアムで働く。夫、子どもと3人家族。



「心のゆとり」が持てる場所です。

19:30 @お風呂

20:30 @寝かしつけ



ここも読んでー

夕食が終わったら子どもをお風呂に入れて、寝かしつける。すやすやと眠る姿を見るのが、親にとって一番気持ちが安らぐ瞬間。今日はどんな夢を見るのかな？



すやすや…

18:00

@保育園にお迎え

17時30分に仕事が終わる、保育園にお迎え。気候が良い時期は歩いて出勤することもあり、そういう時は長良川プロムナードをゆっくりと歩く。「毎日地下鉄で移動をしていた東京時代に比べると、本当にストレスのない生活です」。

わかったー!



きれいなお花を探そう!

8:15

@保育園に送る

8時頃に家を出発し、自転車で保育園に向かう。8時15分に保育園着。そこから郁美さんの勤め先「長良川うかいミュージアム」までは7分ほど。このコンパクトな距離感が、日々の暮らしやすさにつながっている。

もうすぐ着くよー



21:00 ~ 23:00

@リラックスタイム・就寝



ちょっと味見させてー

この日最後の仕事は、次の日の夕食準備。一緒に料理をしながら、今日の出来事を話す。こういう時間を持つことが、夫婦円満の秘訣かもしれない。

今日も一日、おつかれさま!



ここまでノンストップだったお二人に、ようやく落ち着ける時間が。就寝までの間、本を読んだりテレビを見たり好きなことして過ごす。

18:30

@夕食



家に着いたらさっそく夕食。実は前日の夜にほとんど準備ができていて、お料理をあたためて盛り付けたら、すぐに食べ始めることができる。

包丁さばきに自信!



さっそく食べよう!

Working Mom's Day

8:30

@お仕事スタート!

「長良川うかいミュージアム」で、自主事業の企画・運営を担当している。中国語が堪能で中国語の観光通訳をしていたこともある郁美さんは、中国からのお客さんが来た際に中国語で館内説明をすることもある。

いいアイデアが生まれそう



長良川うかいミュージアム

長良川うかいミュージアムは1300年以上の長きにわたり受け継がれてきた、岐阜市を代表する伝統文化である「ぎふ長良川の鵜飼」の歴史や技術、醍醐味など奥深い世界を「護(まも)り」「伝え」「広める」施設として、平成24年8月1日にオープンしました。開催時期の限られている「長良川の鵜飼」について、鵜飼のオフシーズンにもその魅力を発信します。 ㊟ 岐阜市長良51番地2 ㊟ 058-210-1555

岐阜市で学生生活を送る人たちは、どんな毎日を送っているのだろうか。岐阜大学の大学院（修士課程）に通う、藤井汰地さんの1日に同行した。

平日の朝、藤井さんがまず向かったのは大学のキャンパス。その後、昼からは美殿町にある大学のラボに行き、さらに調べものをするために岐阜県図書館にも足を向けた。1日の行動範囲はかなり広いが、自転車で乗って軽やかに行動するのが藤井さんの日常だ。

大学院で「都市・景観研究室」に所属する藤井さんは、豊かな景観のあり方を考え、研究に取り組んでいる。その中で特に影響を受けたのが、自身が暮らす岐阜のまちだ。「商業地や住宅地、畑などが近い距離にあり、いろんな職業の人たちが身近にいます。たとえば大学のラボがある美殿町を歩いていると、商店街の方や近隣の方とばったり会って、そこから会話が生まれることもあります。多様な関わりを体感できることが、自分の学びにつながっています」。

研究活動や旅行などを通して、日本各地のまちの魅力に触れてきた藤井さん。同時に、解決すべき課題があることも実感するという。「公共空間を見ても、『この部分を変えればもっと使いやすいの』と感じることがあります。それを解く最適解はありませんが、誰かが試行錯誤をしてくれれば、その役割を果たせる人になりたいと思います」。まちを見つめる視点を養い、出会う人や経験した出来事から刺激を受けながら、将来につながる貴重な時間を過ごしている。



朝はコーンフレーク一択!



PROFILE

藤井 汰地 さん  
24歳  
大学院生

岐阜大学大学院 自然科学技術研究科。名古屋市出身で、大学4年次から岐阜市で一人暮らしを始めた。



02

鷺山で一人暮らしをしている藤井さん。身支度を終えると、自転車で大学に向かう。



03

さあ、今日も1日頑張ります!

この日は昼まで研究室で過ごし、修士論文の準備に取り組んだ。

この自転車があればどこへでも行ける!



04



藤井くんは研究室配属前から指導しています。2年生から研究室へ遊びに来るようになり、学生有志で公園整備を想定して模型を作り提案することに参加したりもしていました。

「都市・景観研究室」指導教員 出村嘉史 教授

藤井さんの専門分野は「都市形成史」。地元に近い名古屋港とその周辺を対象に研究を行っている。「100年ほど前の行政資料や公文書を読んで、『どういう経緯によってそのまちが作られたのか』を研究しています」。高校生の頃から「まち」や「景観」に興味を持っていた藤井さんは、本格的に研究に取り組むことをめざし、大学1年の頃から大学院への進学を決めていたそう。



岐阜で学ぶ学生の1日

# Study in Gifu

a Student's Day

# Gifu City Cycling Spot

藤井さんが走る！岐阜市サイクリングスポット

藤井さんは、大学のサイクリング部に所属していたほどの自転車好き。「市街地から少し足を伸ばすと、自然豊かで魅力的な場所がたくさんあります」と、市内のおすすめサイクリングスポットを紹介してくれた。

**岐阜メモリアルセンター**  
昔ながらの建築が残るまちなみが特徴的な隠れスポット。最近では建物をリノベーションしたお店がいくつもオープンしており、散歩気分のサイクリングにオススメ。

**長良川**  
きれいに整備された川沿いの道路。金華山と長良川の景色を眺めながら散歩やサイクリングができるのでリラックスにも◎。鶺鴒シーズンや土日の一押しスポット。

**長良川うかいミュージアム**  
**長良川プロムナード**  
**長良橋**

**岐阜公園**  
**岐阜城**  
**金華山**

**御鯰街道**  
市中心部から1番近いサイクリングコースで、サクッと、しっかり登ることが出来る。金華山の森できれいな空気に包まれて清々しい。たくさんライダーがここを走っており、僕もよくここで練習しています！

**金華山ドライブウェイ展望台**

**みんなの森 ぎふメディアコスモス**  
**岐阜市役所**  
**柳ヶ瀬グラスル35**  
**金公園**

街中の広々とした公園。芝生やベンチでのんびり休憩。ふらっと立ち寄って近くのお店でテイクアウトして公園でご飯を食べることが出来ます！

## 岐阜市シェアサイクル「Gifu-ride」



市内に設置するサイクルポートで、一部を除き24時間自由に借りて、自由に返却できる自転車貸出サービスです。目的に合わせて短時間(15分)から利用することが可能で、クレジットカード・キャリア決済が可能です。

☎ 観光コンベンション課  
058-265-3984

※ 地図はイメージです。

06



研究室の仲間と、美殿町ラボの周辺で食事をする事も多い。まちの変化を自分の目で感じたり、商店街の人と交流したりすることも、学びにつながっている。



夕方からは、再び自転車に乗って岐阜県図書館に移動。研究に必要な資料を探す。

05



昼からは市内中心部に向かい、都市・景観研究室が運営する「美殿町ラボ」へ。まちなかならではの研究・教育環境が整っており、まちづくりの実践的拠点でもある。

07



2023年7月、都市・景観研究室の出村教授とともに、スコットランドのインヴァネスで行われた国際学会に参加。藤井さんは、2022年に岐阜県内で取り組んだワークショップについて発表した。「自分たちの取り組み内容やその意義を、各国の方に向けて発信しました」。このように、海外で自身の研究成果を発表する機会もあるそうだ。





コーヒーの多様な魅力を、この店で知りました。

#### SHERPA COFFEE ROASTERS

それぞれのお客様に合った、最高に美味しいコーヒーを提案するまちのコーヒー屋。標高や精製、産地などの多様性がどう香気に影響し、何がお客様にとって最適かを伝えている。シングルオリジンは20種類程度、ブレンドは7種類から。営業時間:10時から18時。火曜定休。

☞ 岐阜市早田1901-6  
☎ 058-295-0136

02  
My Favorite  
Gifu City

いろんなお客様に来ていただけるように。

伊藤慎太郎さんが初めてシェルパコーヒーを訪れたのは、大学生の頃。「高校生まではコーヒーが飲めなかったのですが、この店で飲んでみて、『こんなにおいしい飲みものなんだ!』と思いました」。その後アルバイトとして働くようになった伊藤さんは、店主・中垣さんの影響を受け、コーヒーの多様な魅力に興味を持つ。大学卒業後に社員として働き始めたのも、伊藤さんにとって自然な流れだった。「大学で植物に関する勉強をしてきたので、その観点からコーヒーの味の違いを考えることに面白さを感じました」。

長良川や岐阜メモリアルセンター、長良川国際会議場から近いこの店には、スポーツや音楽を楽しむ人、県外からの観光客など、多様な人が訪れる。また、お客様の年齢も幅広く、若いお客様も増えているそうだ。以前の自分のようにコーヒーになじみなかった人も、気軽にこの店を楽しんでほしい。そんな思いを持ってお客様と接している。



#### PROFILE

伊藤 慎太郎 さん

名古屋市出身。岐阜市の大学を卒業後、2022年4月にシェルパコーヒーに就職。大学時代に住み始めた岐阜への愛着は強く、休日には長良川水系の川で溪流釣りを楽しむ。



私の「好きな」岐阜市  
My Favorite  
Gifu City

人のつながりの中で、いろんなことが叶いました。

#### ノマドライフカフェ

ビンテージライフスタイルショップ「THE NOMAD LIFE」が経営するカフェ。調理師の資格を持つ照沼さんが、地元の食材を使って「どこかホッとするような家庭料理」を提供する。

☞ 岐阜県岐阜市長良45-1  
☎ @thenomadlife\_cafe

ふと見た長良川と金華山に感動。

東京生まれの照沼柊子さんが初めて岐阜に来たのは、21歳の時。「最初は母が岐阜を好きになり、私も一緒に来るようになりました」。魅力を感じて何度も訪れるうち、照沼さん親子は長良川沿いに住まいを借りることを決める。生活の軸足を少しずつ岐阜に移す中で関わりを深めたのが、複合施設「&n(アンドン)」を中心としたコミュニティだった。「アンドンさんとの縁ができてよく訪れるようになった時、『ここにカフェがあったらいいね』という話になったんです」。家具店を改装してカフェが作られ、その運営を照沼さんが任されることになった。「人のつながりの中で、いろんなことがあっという間に叶っていきました」と話す。

岐阜暮らしの中で照沼さんが感じるのは、日々の小さな幸せだという。「ある朝、ごみを出しに行った時、長良川と金華山が見えて感動したんです。生活しているだけで清々しい気持ちになり、心が豊かになる気がします」。



#### PROFILE

照沼 柊子 さん

東京都出身。何度も岐阜を訪れるうちに魅力を感じ、2023年春に岐阜に移住した。同年にオープンしたノマドライフカフェの運営を担っている。



04  
My Favorite Gifu City

**岐阜市歴史博物館**  
岐阜公園の中にある博物館。「金華山と長良川流域文化の歴史」を中心に、岐阜市の歴史や文化、伝統工芸を紹介している。  
☒ 岐阜市大宮町2丁目18-1 (岐阜公園内)  
☎ 058-265-0010

博物館でボランティアをして、歴史が好きになりました。

地域と関わり、人を支えていきたい。

高校生の林陽夏穂さんが「好きな場所」に選んだのは、幼い頃からよく遊んだ岐阜公園。その一角にある岐阜市歴史博物館との関わりも深く、小学校の頃から歴史学習などでよく訪れたという。また、岐阜が大河ドラマの舞台になった時期には、中高生ボランティアとして展示物の解説にも挑戦した。「歴史的な資料を読んで勉強し、解説を行いました。岐阜に関わりのある人やものについて知るうちに、歴史が好きになりました。」  
そんな林さんが高校3年間を通して打ち込んだのが陸上競技だ。けがに付き合いながら競技に取り組んだ経験が、進路を考えるきっかけにもなった。「けがを克服しながら上の大会に行けたことに喜びを感じました。その時にお世話になった柔道整復師の先生のように、選手を支える仕事がしたいと思います」。将来は地元で岐阜で柔道整復師として活躍し、地域の人たちに貢献したい。そんな目標に向かって歩もうとしている。



**PROFILE**  
林 陽夏穂 さん  
岐阜市立岐阜商業高等学校3年。経営管理科で学ぶ。2023年東海高校総体陸上・円盤投げで8位入賞。高校卒業後は医療系専門学校に進学予定。



03  
My Favorite Gifu City

この店での読書体験が自分のベースになっています。

**喫茶ヨジハン文庫**  
書店の店舗を改装し、2017年に「おひとり様向けのブックカフェ」としてオープン。書棚にある本を自由に選んで、ゆっくりと読書を楽しむことができる。  
☒ 岐阜県岐阜市神田町1丁目6-6  
☎ @yojihanbunko2017

本屋を週末起業した社員の日常。

岐阜市内の設計事務所勤める和田拓海さんは、週末に「本屋メガホン」という書店を開いている。この店で扱っているのは、セクシャルマイノリティーや障害者など、社会的マイノリティに関する本。独自の選書に興味を持ったお客さんが、遠方からも訪れるそうだ。さらにこの店では、和田さん自身が執筆、デザイン、製本したZINE（個人制作の本）も取り扱っている。「最初に思い立って書き始めた時、『意外と書けるな』と感じました。今まで多くの本を読んできた中で、蓄積されたものがあるのだと思います。自身のベースとなる経験の一つとして思い浮かぶのが、神田町にある「喫茶ヨジハン文庫」での読書体験だという。「この店の本棚には今まで知らなかった著者の本も多く、自分の本棚とは違ったリズムを感じます。興味や関心が広がる場所です」。気になる本を手に取り、物語やエッセイの世界に浸る。そんな時間の豊かさを、和田さんは大切に行っている。



**PROFILE**  
和田 拓海 さん  
名古屋市の大学院を経て2021年に岐阜市の設計事務所勤務。2023年5月、柳ヶ瀬商店街の中に週末限定の書店「本屋メガホン」をオープンした。

# 教えとー！ パイセン！

Long Interview

若者たちへ、まちの「先輩」が届ける言葉



Takumi Dina  
大岩 拓己 先輩

次の世代と切磋琢磨しながら、いいまちをつくりたい。

ノウハウはなくても、まず始めてみる。

—世の中には、自分のやりたいことができずに迷っている人も多いと思います。大岩さんの場合はどうでしたか？

人生は「回しかないので、やらなかったら後悔する。僕はそう思っているので、やりたいことは全部やってきました。たとえば19歳でモデルの仕事を始めた後、当時住んでいた名古屋では自分のやりたい仕事ができず、東京に出たこともあり。その後アパレルの会社で社員になるなど転機がありましたが、大きな決断をしたのは、28歳の時ですね。スタイリストをしている友人から「飲食店を始めたい」という相談を受け、「じゃあ一緒にやろうか」と、名古屋で「re:Li」というカフェを立ち上げました。

—その時点で大岩さんたちは、飲食店経営のノウハウがなかったわけですね。なぜ、チャレンジできたのでしょうか。

確かに、ノウハウはなかったですね。ただ、僕たちはいろんな店やイベントに行くのが好きだったので、自分の目で見てきたものがいっぱいあったんです。そうして見てきたものの真似事を始めた感じでした。あとは、やりながら学んでいきましたね。計算の上で「原価に対して利益がこれだけで…」と想定することはできませんが、実際にその通りにやってみるとうまくいかないことが多い。だから、その場で勉強しながらやってきました。

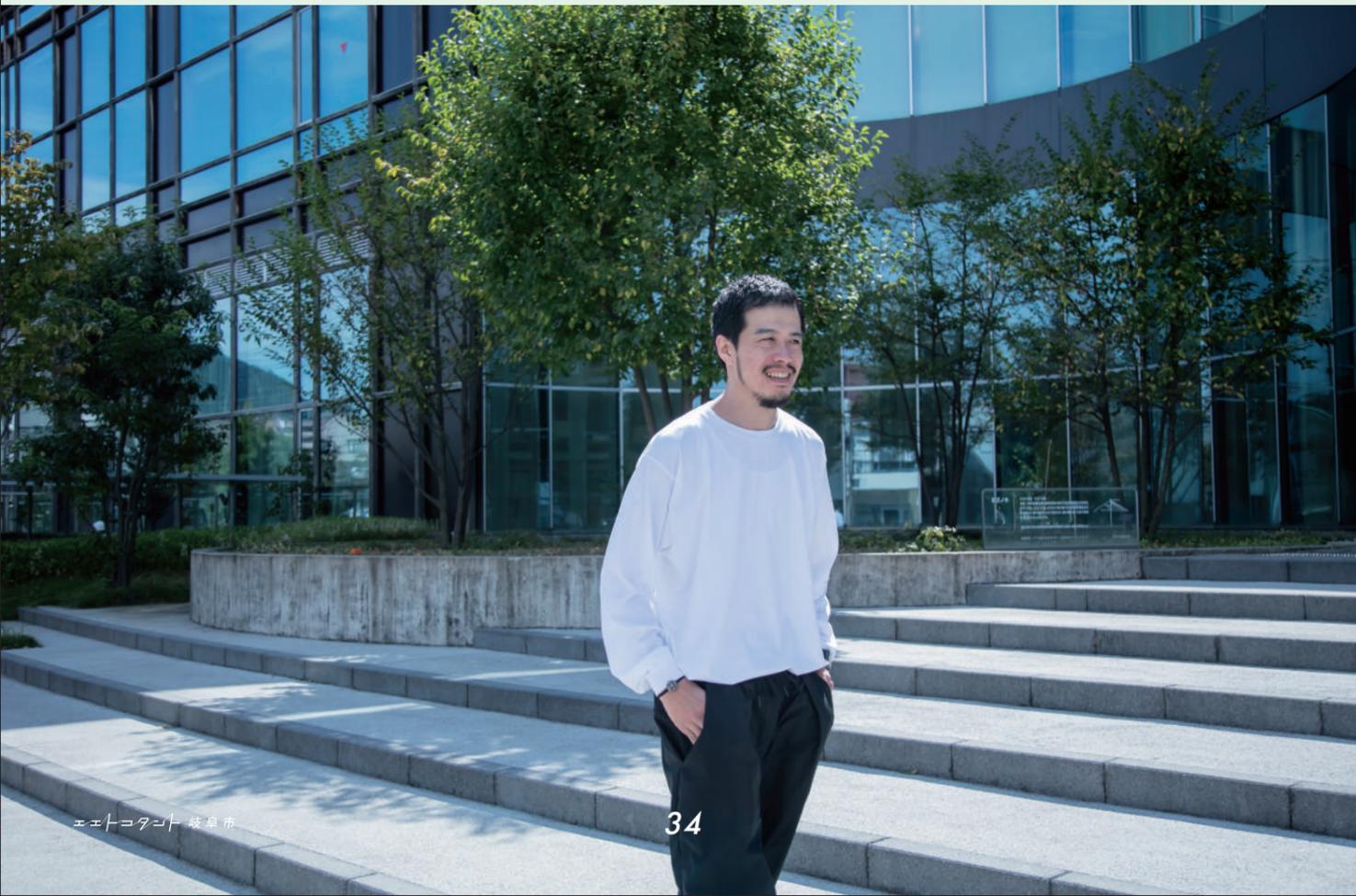
—たとえば「2、3年かけて計画を立て、お金も貯めてから店を始める」というやり方もあったと思います。そうしなかったのはどうしてですか？

いま自分たちがやりたいカフェが、2年後、3年後のニーズに合っているか、というのは分かりませんよね。目まぐるしく変化している時代に、2年、3年かけて準備をしようという考えが、そもそもスピード的に遅いと思います。また僕は、「十分な貯金をしてから何かにチャレンジする」ということを今までしてきました。「時間を買う」と解釈してお金を借りるのは、一つの有効な手段だと思っています。「re:Li」のオープンから2年ほど後に、同じビルの3階にギャラリー&ショップ「THINK TWICE」という店を作りました。その翌年には名古屋の米に「maison YWEL」&「EAT」という2つの飲食店をオープンさせました。

—1年に2店舗も！という経緯だったんですか？

大きな会社の洋服屋さんがあって、その店に併設する形で飲食店をつくることになったんです。たまたま2店舗のオープン時期が重なりました。その会社の会長さんから、「運営していく時の家賃は出してもらおうけど、店を作る時に必要なお金はこちらで出す。だからあなたたちのアイデアを提案してほしい」と言っていたので。

—ぜひこの話をね。



大岩 拓己 さん

LIVE A LIFE Inc. / 代表取締役 CEO、KIMIDORI FARM PROJECT / Founder、Model、米農家。家業の米農家の事業を皮切りに、岐阜を拠点に活動。生産サイドに身を置きながら起業家としてさまざまなプロジェクトに携わり、「農」×「クリエイティブ」の新しい形を提案。お米と柑橘系の果樹に特化した農家として活動する中で、「支援や体験も伴う課題解決をクリエイティブに敢行していく」を目的にファームプロジェクトを立ち上げ、6次産業（生産・加工・販売）まで担うものづくりを行う。

岐阜市の高校を卒業して

19歳でモデルとして活動を始めた後、

名古屋での店舗経営などを経て、

2023年にLIVE A LIFE Inc.という会社を立ち上げた大岩さん。

今まで、どんなことを考えながら新しいことに挑戦してきたのでしょうか。

次の岐阜市を担う若い世代にお届けしたい、

「まちの先輩」の熱いメッセージです！



確かにいい話なんですけど、大きなお金をかけて店をつくるなんて、やったことがないわけです。「200万円のコーヒーマシンを入れたい」と会長さんに伝えると、当然「これだなきゃいけない理由は何?」「どれぐらいの期間で回収できる?」と聞かれ、理由を答えなければいけません。今まで誰にも教わっていないことを一つひとつ誰かに聞きながら、叱られながら、手探りでやってきました。

予想外のことに直面した時、どう壁を越えるかについては、「一人ではなくチームで取り組む」というのが重要だと思えます。チームで作り上げる意識を持ち、その中で自分ごとのポジションで貢献するかを考えながら仕事をすれば、一つひとつ壁を乗り越えていけると思えます。

—その時の大岩さんは、会社内でどんな役割だったんですか?

役員が3人いるうち、僕は飲食の統括マネージャーという形で、すべての店を統括しながら会社全体の経理的な部分も担当し、COOみたいな立ち位置で仕事をしていました。

—13年間、店舗の経営に関わった後、大岩さんは2022年に会社を辞め、岐阜で農業を始められました。今の仕事の概要を教えてください。

親族の実家が兼業の米農家をしていて、その仕事を2022年秋から一緒にやっている感じです。企業のイベント企画制作をメインで行う広告代理業と、米農家の兼業農家という

形で、「LIVE A LIFE Inc.」という会社を経営しています。僕がいるいろんなプロジェクトに取り組み中でめざしているのが、「クリエイティブ」×「農業」の新しい形を提案することです。長く農業の世界にいる人間ではないので、作り手の課題を少し違った視点で解決できないか、ということを考えています。

700個のはっさくを使って何が  
できる?

—農業の課題を実感した例があれば教えてください。

うちでは秋にお米の収穫が終わわり、冬は柑橘系の果物が採れます。はっさくがたくさんできるのですが、ある時「これは全然売り物にならない」と言われました。聞けば、800個採れたうち売れるのは100個くらいで、残りの700個はすごく安い値段でしか買ってもらえないというのです。売れない分は収穫せず、木からポトポト落ちて、そのまま肥料になっていました。

でも、飲食業をしていた立場からすると、すぐもったいない感じがしちゃって。「自分で何とかできないかな」と考え、真冬でしたがとらあえず余ったのはっさく700個を全部たわしで手洗いました。

そのはっさくを使ってできることを調べる中で、たまたま縁があつてクラフトビールを作ることになりました。そうしたら結構反響があり、岐阜と名古屋、東京、広島などで売るポップアップイベントみたいな企画を立ち上げ、各地をまわりました。

フードレスキューしてクラフトビールを作るのは手間がかかるので、たぶん大手の会社はやらないけど、僕は大事なことでどと思つてます。「SDGsの観点で・・・」とかいう以前に、そもそも困つている人がいるなら助けたい、というシンプルな話です。ただ「フードロスにならないための話」と言うためには、最終的に売れなければいけません。だからこそ、商品を作つてお届けするまでをしっかりと実行する必要があります。と思います。

—クラフトビールは売れたんですか?

300本作つて、全部売れました。買つてくださった方の中に、「応援したいから買う」という気持ちも絶対にあると思うんです。「実ははっさくが余つちやつて、自分で全部手洗ひしたんです」「ビールを作ることによつて無駄にならずに済みました」とみたいな話をするので、多くの方が「じゃあ飲んでみます」と言つてくださいます。あるイベントで売つた時も、「インスタグラムで見ました」と言つて買つてくださる方が多くて、すごくびっくりしました。

「農家つて楽しいよ」と言える未来を。

—農業の課題として、他にどのようなものがありますか?

たとえば後継者問題も大きくて、せつかく機具やリソースがあるのに農業のやり方が継承されず、農業をやめてしまう例があります。あとは、販売先が限られていて、他の売り方を知らないというケース。そういういろんな

課題を打開するための選択肢を増やせるのではないと思つています。新しい取り組みとしては「agmiruアグリル」という農業のポータルサイトの運営が、まさにそういった課題を解決するものです。異業種との協業によるメリットがはじまっています。

「今までは違うけど、このやり方もありだね」と優しく共有できるような、新しい成功体験を作ることが、自分のミッションだと考えています。過去のレガシーに引つ張られた狭い村社会ではなく、柔軟でプログレッシブな農家をめざしていきたいですね。「農家楽しいよ、最高じゃん」と胸を張つて言えるようにしたいと思つています。

—大岩さんは「サンデービルディングマーケット」にも関わりがあると聞きました。

はい。一回目の開催から関わつていて、毎回コーヒースタンドと物販の店を出店しています。また、「こんなお店があつたら面白そう。柳ヶ瀬の景色が変わりそうですね」という感じで、ワクワクしながら企画にも関わらせてもらいました。

僕にとって柳ヶ瀬は、高校時代によく来ていた思い出深いまちです。そういう場所であつて、いろんなことに挑戦している人たちがいる。そこに自分も協力したいと思つています。僕は、名古屋でもいろんなことをやってきましたが、やつぱりふるさとと呼べるのは岐阜なので、思い入れを持つて岐阜に貢献したいと思つています。

—次の時代の岐阜を担う若い人たちと、どう関わつていきたいですか?

世代のクロスオーバーに大きな可能性があると思つています。若い世代の人たちが得意なことと、僕らが経験を活かしてできること。その両方をからめられればお互いに切磋琢磨できると思つています。伝えたいのは「一緒にがんばろう」ということです。世代や業種の垣根を超えたチームを作り、化学反応を起こす。それが、岐阜がいまになることに結びつくと思つています。新しい世代と切磋琢磨できる遠慮のない関係性を築き、一緒にいまちにしてきたいです。

—最後に、何かにチャレンジしている若い世代の人たちにメッセージをお願いします。

新しいことをしようとする壁に直面することもあると思つていますが、壁を乗り越えるための近道とかワープなんてなくて、本当にコツコツと積み上げていくことが大事だと思つています。人と比べると、「昨日の自分をちゃんと越えているか」の方が大事で、それを続けていけば壁を乗り越えていけるんじゃないでしょうか。壁なんて何歳になつてもなくならないし、僕も農家としてはまだまだ新米で、現在進行形で壁に直面しています。でも、そういう時つて実はチャンスだと思つています。力づくで越える方法もあるし、工夫して梯子を作つて越える方法もある。そのプロセスを、とにかく楽しんでほしいと思つています。



教えこーい！  
パイセン！

Long Interview



### 幼児教育の推進



幼稚園や保育園などの幼児教育施設だけでなく、小学校や研究機関、家庭・保護者、地域など、幼児期の子どもに関わるすべての人が協力し合う「オール岐阜」の体制で子どもの成長を支えています。

#### 幼小をつなぐ

幼児期から学童期にかけての子どもの成長に寄り添う教育環境を実現するため、幼稚園教諭や保育士、小学校教諭を対象とした合同研修会、実践公開を実施しています。

#### 家庭教育の応援

講師を招いた講演で、会場またはオンラインで子育てについて学べる「幼児教育セミナー」、親子で遊んで学べる「わくわく親子セミナー」を開催しています。

#### 実践研究の推進

幼児教育の質を高めるため、市立幼稚園にて公開保育・研究会を実施しています。また、幼児教育関係者のスキルアップを図るため、研修を行っています。



図 幼児教育課 058-214-7124



### 岐阜市版「GIGAスクール」の推進

#### 学校と保護者をつなぐ「連絡アプリ」導入



学校と保護者間のやりとり(欠席連絡や学校からの便り等)をデジタル化し、保護者の利便性向上と教職員の働き方改革を推進しています。

#### 子どもの健康サポート事業

今まで見えなかった一人ひとりの子どもの「日々のこころや身体のサイン(変化やアラート)の様子」を瞬時にキャッチし、きめ細やかなサポートを実現します。

図 学校指導課 058-214-7156

#### 岐阜市科学館

多彩なプログラムを投影するプラネタリウムや、参加体験型の展示のほか、様々なテーマのサイエンスショーなどを通して科学を学べる知的レジャー施設です。



図 岐阜市本荘3456-41 図 9:30~17:30(入館受付は17:00まで)  
図 月曜(祝日の場合は火曜)、祝日・振替休日の翌日  
年末年始(12月29日から1月3日) 図 058-272-1333

### ぎふMIRAI's

市立の小・中学校、特別支援学校の児童・生徒が岐阜市を学び、自分の生き方をつくり出す「ぎふMIRAI's(みらい)」を創設しました。「ぎふMIRAI's(みらい)」とは、「岐阜市全体」を教室、「岐阜市の人・もの・こと」全てを先生とする探究学習です。



#### ぎふMIRAI's(みらい)チャンネル

全小・中学校をオンラインでつないだ一斉授業の実施

#### ぎふMIRAI's(みらい)フィールドトリップ

「人・もの・こと」とリアルに出会う機会の創出

### 施設紹介

#### ドリームシアター岐阜



「ふれあい・遊び・創造」をテーマとした施設で、手づくり遊具やクラフト体験、楽器遊びなどが楽しめる「子どものフロア」や、静かにゆったり過ごすことができる「ドリーム ホットスペース」があります。子どもや親子を対象としたセミナーやイベントも多数開催しています。

図 岐阜市明徳町6 図 9:00~21:00(日曜・祝日は17:00まで)  
図 ホームページにて確認 図 058-262-2811



## こどもファーストのまち 岐阜市



子育て・教育

未来を担う子どもたちのことを第一に考えた取り組みを進めている岐阜市。切れ目のない支援の充実などにより、子育て世帯が安心して暮らせる環境づくりに力を入れ、子どもたちがのびのびと育つまちを目指しています。

### 切れ目のない支援の充実

#### 紙おむつ回収サービス

市内の公立保育所では、園児の使用済み紙おむつを保護者が持ち帰るのではなく、保育所で回収しています。

#### 紙おむつのサブスクリプション

岐阜県内の市では初めて、市内の公立保育所において、紙おむつ利用料金の月額定額制サービスを実施。

図 子ども保育課 058-214-7825

#### 産後ケア事業

出産後の体調や育児に不安のある産婦の方が、指定の委託医療機関で、宿泊または日帰りでの育児支援が受けられます。

図 健康増進課 058-252-7193

#### 結婚新生活支援事業

岐阜市で新婚生活をスタートされるご夫婦に対し、住宅取得費用、住宅賃借費用、引越費用など最大60万円まで補助します。

※年齢が39歳以下であることや所得制限などの補助要件があります。

図 子ども政策課 058-214-2397

### 施設紹介

#### 母子健康包括支援センター



市内3カ所にある保健センター内に、母子の健康を妊娠中から子育て期間までを切れ目なく支援する専用窓口を設置し、専任の職員(保健師)等が妊娠・出産・子育てに関する幅広い相談に応じます。

図 岐阜市中母子健康包括支援センター 058-214-6631  
岐阜市南母子健康包括支援センター 058-271-8130  
岐阜市北母子健康包括支援センター 058-233-3116  
(2024年4月より名称変更予定)

#### 岐阜市子ども・若者総合支援センター「エールぎふ」



0歳から20歳前までの子ども・若者のあらゆる悩み・不安に対して、ワンストップで相談できる窓口として、一人ひとりの成長段階に応じて総合的・継続的な支援を行っています。

総合相談窓口：0120-43-7830  
gifu-kodomo-wakamono@world.ocn.ne.jp

図 岐阜市明徳町11 図 8:45~17:30  
図 土曜・日曜・祝日、年末年始

#### こどもサポート総合センター

岐阜県・岐阜市・岐阜市教育委員会・岐阜県警察と連携を強化し、児童虐待等に係る児童の安全確保を図るため、「こどもサポート総合センター」を開設しています。県・市・県警が同一施設内で業務を行うのは、全国で初めての事例です。

図 岐阜市子ども・若者総合支援センター 058-269-1321

#### ぎふし子育て応援アプリ



妊娠・出産・子育てに必要な情報をいつでもどこでも、簡単に知ることができる子育て家庭を応援するアプリです。



図 子ども政策課 058-214-2397

#### パパママ学級(対面型とオンライン型)

妊婦さんとそのご家族が参加できる出産や子育ての準備を学ぶ教室です。妊娠・出産・育児に関する情報提供や妊婦さん同士の交流を行います。

図 健康増進課 058-252-7193

#### ぎふし共育都市プロジェクト

夫婦が共に子育てを楽しめるまちを目指して、「ぎふし共育都市プロジェクト」を実施しています。



図 子ども政策課 058-214-2397



岐阜市は、持続可能な開発目標（SDGs）の考えを取り入れながら、持続可能で成長する都市づくりを推進しています。市民が笑顔で健康的に暮らすための医療環境と安心の救急体制をはじめ、社会状況の変化にも対応するなど、安心で住みやすい岐阜市には、様々な魅力があふれています。

## 魅力あふれるまち 岐阜市



まちづくり・医療・健康

### 『東海地方 No.1 の医療環境』

人口10万人当たり	岐阜市	全国平均
病院数	8.0	6.5
病院の病床数	1,616	1,195
医師数	431.2	269.2

出典)厚生労働省「令和2年 医師・歯科医師・薬剤師統計」  
「令和4年 医療施設調査・病院報告」

人口10万人当たりの病院数・病床数・医師数がすべて全国平均を上回り、どれも東海地方の政令指定都市・中核市の中で第1位となっています。

	岐阜市 消防本部	全国平均
現場到着 平均所要時間	8.0分	9.4分
病院収容 平均所要時間	35.1分	42.8分

出典)消防庁「令和4年版救急・救助の現況」  
岐阜県「消防防災年報令和3年度版」

救急車が現場に到着するまでの時間や、患者を病院に収容するまでの時間が全国平均と比べて早いなど、救急体制が整っています。突然の容態の変化や事故による負傷など、一刻を争う緊急事態のときも安心です。

### SDGs

岐阜市は、令和3年5月に「SDGs 未来都市」及び「自治体 SDGs モデル事業」に選定され、シビックプライドとWell-beingに満ちた「持続可能なまち・岐阜市」の実現に向けて取り組んでいます。



未来創造研究室  
058-214-2004

### ゼロカーボン

岐阜市は、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指し、「オール岐阜」の力を結集し、「ゼロカーボンシティ」の実現にチャレンジする、「岐阜市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しています。



脱炭素社会推進課  
058-214-2149

### 岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設「ウゴクテ」



「柳ヶ瀬グラスル35」の3階に、健康運動施設「ウゴクテ」がオープンしました。生活習慣の改善が必要な方や健康づくりに関心が薄い方などに健康づくりの「きっかけ」を提供する施設です。



岐阜市柳ヶ瀬健康運動施設「ウゴクテ」 058-214-3760

### 自動運転バス運行



「自動運転バスがいつも走っているまち」の実現に向け、自動運転バスの5年間の継続運行をスタートしました。岐阜駅から市役所までの中心部ルートと岐阜駅から川原町や岐阜公園などの観光地を周遊する岐阜公園ルートを運行します。

交通政策課 058-214-2028

### WORK! DIVERSITY 実証化モデル事業

働きづらさ(ひきこもり、ニート、コミュニケーションが苦手など)を抱える人に、職業訓練プログラムやカウンセリング、職場実習、就職活動のサポートなどの就労支援を行います。

☎ (一社)サステイナブル・サポート  
058-216-0520

### ぎふしスタートアップ支援事業

岐阜市リモートオフィス(Neo work-Gifu)では、起業や経営上のあらゆる悩みに、専門家が無料で相談に応じる「スタートアップ相談窓口」を開設しています。岐阜商工会議所や地元金融機関と連携した「オール岐阜市」の体制で、起業前から起業後まで伴走支援します。



☎ 岐阜市高砂町1-17 岐阜イーストライジング24 2F  
☎ 9:00～21:00(水・日曜のみ18:00まで)  
※スタートアップ相談窓口  
10:00～18:00(月～土 要予約)  
☎ 祝日 ☎ 058-264-8355



岐阜から名古屋までは電車で20分～30分。名古屋圏へのアクセスが良く、主要施設が整備されている岐阜市の人気はますます上昇しています。岐阜市に移り住んで就職したい人、お店を始めたい人、空き家を改修して住みたい人などに、定住の際に役立つ様々な制度がそろっています。

## 今、住みたいまち 岐阜市



定住支援

### 『理想の住まいが見つかる』

好条件の土地や物件も、岐阜市ならきっと予算内で見つかります。

#### 1㎡の土地価格比較

岐阜市 ……17万4千円/㎡  
(JR岐阜駅周辺)  
名古屋市 ……29万6千円/㎡  
(名古屋市営地下鉄八事駅周辺)

出典)令和5年1月1日 国土交通省地価公示  
※駅から600m地点の土地価格を比較

#### 2LDKの家賃相場比較

岐阜市 ……8万1千円  
名古屋市 ……10万7千円  
(名古屋市全区の平均値)

出典)不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」  
「マンション・アパート・一戸建ての相場表」  
(令和5年10月27日時点)

### まちなか居住支援事業

まちなか居住重点区域にご自身が住むための住宅を新築・購入する2人以上の世帯に対し、建設・購入費の一部を助成します。子育て世帯などの要件により、助成額が異なります。

☎ まちづくり推進政策課  
058-214-4494  
☎ (一財)岐阜市未来のまちづくり財団  
058-201-4010

### 移住相談窓口(県外)

岐阜県 清流の国ぎふ 移住・交流センター  
東京窓口 080-7749-3317  
名古屋窓口 090-2619-2102  
大阪窓口 090-4083-0231

岐阜県 移住・定住  
ポータルサイト  
「ふふふぎふ」



### 『名古屋へのアクセスの良さなどから “岐阜人気”が定着』

若年層やファミリー層からの支持が高い!



出典)不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」調べ 2023年中部圏版 LIFULL HOME'S住みたい街ランキング

### 空き家改修費補助事業

新婚世帯、子育て世帯、市外からの転入世帯もしくは岐阜市版空き家バンクの掲載物件を購入された世帯等で、2人以上の世帯を対象に、定住するために空き家を購入し、改修する場合に、対象工事費用の1/2(居住用部分に限る。上限あり)を補助するものです。

※改修工事契約前に申請が必要です

☎ 空家対策課 058-214-2258

空き家の売却について、インターネット上で情報を発信  
岐阜市版空き家バンク



### 中心市街地活性化空き店舗活用事業

商店街の活性化やにぎわいの創出を図るため、空き店舗を活用して事業を行う新規出店者に対し、賃借料と初期費用の一部を補助する制度です。

※賃貸借契約前に申請が必要です

☎ 商工課 058-214-2360

### 移住支援金

東京23区に在住又は通勤していた方が、岐阜市へ移住した場合、支給要件を満たすことにより移住支援金を受けることができます。

☎ 労働雇用課  
058-214-2358

### 移住・定住情報発信

移住・定住情報発信サイト  
「ココカラweb」

移住・定住に関する支援制度を紹介するとともに、岐阜市に移住された方々のインタビュー記事を掲載し、岐阜市での暮らしの魅力を発信しています。また、移住・定住相談のオンライン申込ができます。



岐阜市HP



☎ 総合政策課  
058-214-2019

移住・定住相談  
オンライン申込

# GIFU CITY EVENT CALENDAR

岐阜市イベントカレンダー

伝統ある祭りや、若者が中心となってまちを盛り上げる催しなど、1年を通して楽しめるイベントが盛りだくさんです。

### サンデービルヂングマーケット

柳ヶ瀬商店街で偶数月の第1土曜日と毎月第3日曜日に開かれる「手づくり」と「こだわり」が詰まったライフスタイルマーケット

### ぎふ長良川の鶺鴒

1,300年以上にわたり受け継がれてきた岐阜市が誇る伝統文化「ぎふ長良川の鶺鴒」は5月11日から10月15日まで開催し、例年全国から多くの観光客が鶺鴒観覧に訪れます。「長良川の鶺鴒漁の技術」は、国の重要無形民俗文化財に指定されており、ユネスコ無形文化遺産登録を目指しています。

岐阜市鶺鴒観覧船事務所 058-262-0104

### 日本遺産第1号 「信長公のおもてなしが息づく 戦国城下町・岐阜」

織田信長が形作った戦国時代の城・町、そして長良川の鶺鴒文化は、岐阜城が城としての役割を終えた後も受け継がれ、今も岐阜の町に息づいています。

1月1日 岐阜城初日の出

1月20日～28日 ぎふ灯り物語

2月16日・17日 全日本学生落語選手権策伝大賞

3月上旬 ぎふ梅まつり

4月6日・7日 岐阜まつり

4月13日 手力の火祭

4月28日 高橋尚子杯 ぎふ清流ハーフマラソン

4月28日 道三まつり

5月11日 ぎふ長良川の鶺鴒開き

5月 岐阜城パノラマ夜景

6月 ぎふ長良川の鶺鴒

7月16日 長良川まつり・鮎供養

7月31日～8月5日 清流の国ぎふ総文2024

8月上旬(予定) ぎふ長良川花火大会

9月7日 伝統文化の夕べ 長良川新能

9月下旬 ぎふアクションスポーツフェスティバル

9月下旬 柳ヶ瀬 ジュラシックアーケード

10月14日・11月24日 「清流の国ぎふ」文化祭2024

10月15日 ぎふ長良川の鶺鴒じまい

10月 ぎふメテオコスモス

11月中旬 ぎふサイエンスフェスティバル

11月2日・3日 岐阜市産業・農業祭 ぎふ信長まつり

12月14日 池ノ上みそぎ祭

12月21日(冬至) こよみのよぶね

### 「清流の国ぎふ」文化祭2024

開催期間：10月14日(月)から11月24日(日)

「清流の国ぎふ」文化祭2024とは、第39回国民文化祭と第24回全国障害者芸術・文化祭の統一名称で国内最大の文化の祭典です。各種の文化活動を全国規模で発表・共演・交流します。岐阜市では、演劇や茶道など10の全国文化交流事業等を開催します。

### 清流の国ぎふ総文2024

開催期間：7月31日(水)から8月5日(月)

全国の高校生による芸術文化活動の祭典であり、「文化部のインターハイ」と呼ばれる全国高等学校総合文化祭が岐阜で開催されます。岐阜市内では総合開会式のほか、器楽・管弦楽、美術・工芸等の部門が行われます。

### ぎふアクションスポーツフェスティバル

開催日：9月下旬(予定)

複数のアクションスポーツを見学・体験できるイベントを開催します。

### 岐阜スーパース

2023-24シーズン 2023年10月～2024年4月

2024-25シーズン 2024年10月～2025年4月(予定)

©岐阜スーパース

### FC岐阜

2024シーズン 3月～12月(予定)

©FC Gifu

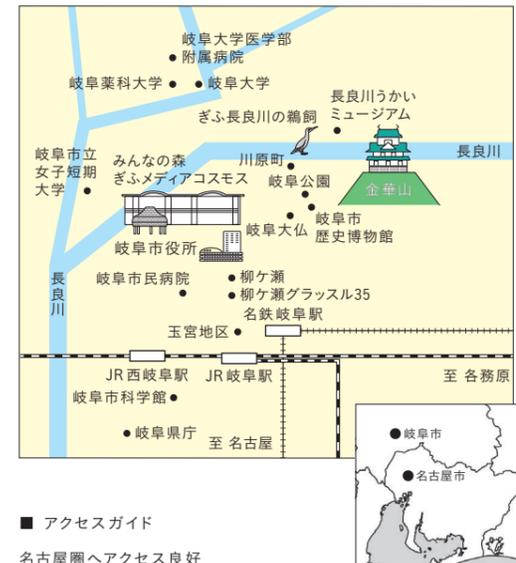
※ イベントの日程・内容は変更になる場合があります。



岐阜市ふるさと納税

Webサイト  インスタグラム 

■ 岐阜市中心部マップ



■ アクセスガイド

名古屋圏へアクセス良好  
 岐阜から名古屋まで電車で20分～30分  
 JR新快速なら岐阜駅から名古屋駅間の停車駅1駅

■ 市公式SNS



「エエトコタント岐阜市」Webサイト 

市公式シティプロモーションチャンネル  
 「COLORS. Gifu City」 

- ※ 本誌掲載のデータは2023年11月1日現在のものです。発行後に内容が変更となる場合がありますので、お出かけの際は電話等で事前に確認されることをおすすめします
- ※ 本誌及び本Webサイト掲載の内容、画像等の無断転載・無断使用を禁じます
- ※ オークションサイト等での本誌の転売行為を禁じます
- ※ 金額は変更になる場合がありますので、詳しくは各施設・店舗にお問い合わせください
- ※ 掲載店舗は市民アンケート結果や、関係団体などの推薦に基づいて選定しています
- ※ 本誌掲載内容による損害賠償等は補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください

企画 株式会社ミュキデザイン  
 デザイン RADICAL 岩井 宏和  
 イラスト RADICAL 田中 友香里 / 長谷川 愛海  
 コピーライティング grain 堀場 繁樹  
 撮影 TONE TONE PHOTOGRAPH 対馬 一宏  
 栗井 信行・OH SNAPS! 染矢 凌佑  
 発行 岐阜市  
 広報広聴課 058-214-2710  
 発行月 2023年12月

